

科目概要

学科名	ファッションデザイン科		
科目コード	2020FD11		
授業科目名	ファッションビジネス論 I		
授業時間数	60		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	1年次	開講時期	前期・中期
授業方法	講義		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	百貨店において、接客販売、バイヤー、セールスマネージャーの実務経験を持つ教員が、ファッション産業の仕組みや特性について解説する。 産業構造、ビジネスの特性と変遷、社会と消費者の変化等、業界全体の現状を把握し、業態別ビジネスの特性、MD基礎知識とブランド展開についての基礎的な知識を身に付ける。
到達目標	企画、生産から流通に渡るファッションビジネスの業務を遂行する際に、必要なビジネスの基礎的な知識を修得する。 ファッションビジネス用語を習得し、応用能力を発揮出来るようになる。
授業計画	<p>第1回 ファッションビジネスの概要（産業とビジネス特性、企業と生活者） ファッション産業のビジネス特性を知り、企業と消費者、生活者の関係を理解する</p> <p>第2回 ファッション商品とファッションサービス ライフスタイルを提案するファッション商品の広がりとサービスを理解する</p> <p>第3～4回 繊維ファッション産業の構造、職種 繊維ファッション産業の構造とそれぞれの段階での業務に携わる職種について理解する</p> <p>第5～6回 ファッションビジネスの変遷、近年の傾向 現在のファッションビジネスの原型となった時代から今日迄の時代背景と共に、ビジネスの変遷について理解する</p> <p>第7～8回 アパレル産業について（ブランド、インポート、ライセンス含む） アパレル産業の構造と特性、ブランドビジネスについて理解する</p> <p>第9～11回 小売産業について（業態・業種、商業集積、SC） 小売産業の構造と各業態、業種の特性を理解する</p> <p>第12回 小売企業の仕組みと業務 小売企業の組織と業務、販売について理解する</p> <p>第13～14回 マーケティングの基礎知識・マーケティング上の分類 ファッション企業におけるマーケティングの特性と戦略、分類方法を理解する</p> <p>第15～16回 市場からの情報収集・分析 マーケティング活動における情報源と収集、ファッション企業における市場調査について修得する</p> <p>第17回 流通について（役割と機能、流通コスト、取引条件） 流通の役割と機能、取引に関わる条件を理解する</p> <p>第18回 アパレルメーカーと小売企業の取引実例（納品、約定、決済、価格） アパレルメーカーと小売企業の取引について、実例を基に理解する</p> <p>第19～21回 マーチャンダイジングの基礎知識 アパレルMDとリテールMDの特性と業務を理解する</p> <p>第22回 会社知識 会社組織と企業の社会的責任について理解する</p> <p>第23回 デジタルマーケティング インターネットの各種デジタル媒体の特性を知り、既存顧客、潜在顧客と繋がる手段を修得する</p> <p>第24回 注目される業界キーワード ファッション業界において注目されるキーワードを知り、事例を基にファッションビジネスの現状を理解する</p>
教科書	ファッションビジネス I / ファッションビジネス用語辞典（日本ファッション教育振興協会）
成績評価方法	定期試験（80%）及び授業参加への積極性を重視する平常点（20%）により評価する。
備考	

科目概要

学科名	ファッションデザイン科		
科目コード	2020FD22		
授業科目名	ソーイング		
授業時間数	120		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	1年次	開講時期	前期・中期
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	<p>アパレル生産企業にて既製服の縫製、アパレルCAD、パターン修正等の実務経験のある教員が、アパレル生産の基礎を指導する。職業用ミシン、工業用ミシン、ロックミシン、工業用アイロン等の操作方法を身に付け、スカート、パンツ、シャツ、ジャケット等の基本的なアイテムの構成を理解し、演習を通して既製服の縫製技術を身に付ける。</p>
到達目標	<p>基本的アイテムの制作演習を通して生地選びから裁断・縫製に至るまでの技術を習得し、生地やデザインに応じた縫製技術を身に付けることで被服制作の習熟度を高める。また、縫製仕様書と工程分析を基に制作することで既製服仕立てへの理解を深める。</p>
授業計画	<p>第1回 ソーイングの基礎知識とミシンの使い方 (課題名/基礎縫い) 用具の説明、ミシンの使い方を理解し、基礎縫いの課題をとおして正確に縫う力を身に付ける</p> <p>第2回 制作の基礎(課題名/縫い代始末、ファスナー付け部分縫い) 縫い代始末、ファスナー付け部分縫いを通して衣服制作の基礎的な技術を身に付ける</p> <p>第3回 工業用パターン制作(課題名/スカート工業用パターン) スカートの構成を理解し、その縫製仕様に合わせて工業用パターンを制作する技術を身に付ける</p> <p>第4回 生地の裁断(課題名/スカートの裁断) 生地の特性に合わせた地直しと、型入れ、裁断の技術を身に付ける</p> <p>第5～7回 スカート制作(課題名/スカート) スカート制作を通して、ダーツ縫い、ギャザー、ファスナー付け、ベルト付け、仕様書作成等の技術を身に付ける</p> <p>第8回 生地の裁断(課題名/パンツの裁断) 生地の特性に合わせた地直しと、型入れ、裁断の技術を身に付ける</p> <p>第9～12回 パンツ制作(課題名/パンツ) パンツ制作を通して、ポケット付け、タック、ファスナー付け、ベルト付け仕様書作成等の技術を身に付ける</p> <p>第13回 生地の裁断(課題名/長袖シャツの裁断) 生地の特性に合わせた地直しと、型入れ、裁断の技術を身に付ける</p> <p>第14～17回 長袖シャツ制作(課題名/長袖シャツ) 長袖シャツ制作を通して、身頃の組立、台衿付きシャツカラー、短冊あきカフス付け、仕様書作成等の技術を身に付ける</p> <p>第18回 生地の裁断(課題名/ジャケットの裁断) 生地の特性に合わせた地直しと、型入れ、裁断の技術を身に付ける</p> <p>第19～22回 ジャケット制作(課題名/ジャケット) ジャケット制作を通して、テーラードカラーの仕立て、二枚袖の仕立て、まとめ作業、仕様書作成等の技術を身に付ける</p> <p>第23～24回 部分縫い(ポケット等) 部分縫いでポケットの構造を理解し、制作技術を身に付ける</p>
教科書	<p>担当教員において配布資料作成</p>
成績評価方法	<p>各制作課題における作品評価点(80%)及び授業参加への積極性を重視する平常点(20%)により評価する</p>
備考	

科目概要

学科名	ファッションデザイン科		
科目コード	2020FD32		
授業科目名	マーチャンダイジング論		
授業時間数	24		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	2年次	開講時期	前期
授業方法	講義		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	百貨店において、接客販売、バイヤー、セールスマネージャーの実務経験を持つ教員が、マーチャンダイジング理論を解説する。業界全体の流れを把握し、アパレル企業、及び、小売企業におけるマーチャンダイジングの特性と業務フローを理解し、企画、品揃え、販売計画立案の手法を学ぶ。生活者のライフスタイルにおける洞察力を高め、察知した商品を具現化し、売れるように仕組む演出力、技術を修得する。
到達目標	シーズン毎のマーチャンダイジングフローを修得し、ターゲットに沿った適切な商品計画、販売計画を組み立てる考え方を身に付ける。
授業計画	<p>第1回 マーチャンダイジングとは コンセプトとターゲット ファッション業界全体の流れを把握し、アパレル企業、小売企業のマーチャンダイジング特性を理解する</p> <p>第2回 アパレルマーチャンダイジングの特性と業務フロー アパレルメーカー、SPAのMD特性と業務フローについて理解する</p> <p>第3回 リテールマーチャンダイジングの特性と業務フロー 小売企業のMDの特性と業務フローについて理解する</p> <p>第4回 バイイングについて 商品計画における、SPA企業の海外バイイング、小売企業のバイイングについて理解する</p> <p>第5回 インストアMD/ネットショップMD ネットショップに見られるMD特性と顧客とのコミュニケーション戦略を理解する</p> <p>第6回 商品構成とVMDについて 商品計画と商品演出が連動している技術について理解する</p> <p>第7回 アパレル企業と小売店舗のスタイリング計画 アパレル企業のスタイリング計画と展示会、小売企業のスタイリング計画について理解する</p> <p>第8回 ファッション企業のプロモーションについて プレストアとインストアの両観点から理解する</p> <p>第9～11回 シーズンMD演習 マーチャンダイジングの一連の業務について、シーズンMD立案の演習を通し修得する</p> <p>第12回 マンスリー販売計画について 月別の販売計画について、事例を基に理解する</p>
教科書	ファッションビジネスⅡ/ファッションビジネス用語辞典（日本ファッション教育振興協会）
成績評価方法	定期試験（80%）及び授業参加への積極性を重視する平常点（20%）により評価する。
備考	

科目概要

学科名	ファッションデザイン科		
科目コード	2020FD12		
授業科目名	総合デザイン論		
授業時間数	24		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	1年次	開講時期	前期・中期
授業方法	講義		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	多岐に渡るデザイン分野の各専門知識や技術を、各専門分野の講師陣からオムニバス形式により具体的実例を専門家の考え方や手法を理解する。
到達目標	建築、インテリア、芸術、グラフィック、ファッション、インターネット、ディレクションなど各デザイン分野の専門知識を広く理解し、視野の広い発想力を養う。
授業計画	第1回 栄養学について①自分の体をデザインしよう！ 第2回 広告写真について 第3回 コミュニティデザインについて 第4回 アートについて 第5回 フォトコラージュについて 第6回 スタイリングについて 第7回 建築デザインについて 第8回 アートディレクションについて 第9回 彫刻について 第10回 ファッションデザインについて 第11回 第1回～10回までのレポート作成 第12回 デザイン思考／アイデア出し、グループディスカッション 第13回 デザイン思考／プレゼンテーション 第14回 建築からプロダクトグラフィック多種に渡るデザインについて 第15回 雑貨デザインについて 第16回 商空間店舗デザインについて 第17回 インテリアコーディネートについて 第18回 Webデザインについて 第19回 キャラクターデザインについて 第20回 ファッションビジネスについて 第21回 広告コピーについて 第22回 栄養学について②食事とデザイン 第23回 ファッションコーディネートについて 第24回 第12回～23回までのレポート作成
教科書	担当教員において配布資料作成
成績評価方法	受講レポート(70%)、及び授業参加への積極性を重視する平常点(30%)により評価する。
備考	

科目概要

学科名	ファッションデザイン科		
科目コード	2020FD13		
授業科目名	素材学		
授業時間数	32		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	1年次	開講時期	通年
授業方法	講義		
実務経験のある教員による授業科目	該当しない		

シラバス

授業内容	ファッションの材料となる素材の基本的性質を知ると共に、多くの生地に触れてその感覚や使い方を身につける。その特性とそれを活かす方法を理解することで実践的に役立て、また、取り扱いを理解することで、より専門的知識を持ったデザイナーやアドバイザーを目指す。市場で使われている生地の名前や、そのアイテムとの関連なども学修する。
到達目標	材料として使用する素材に触れ繊維の基本的性質を知ること、素材の特性を理解する。生地の種類やその特性を理解し、デザインへ活かす力を身に付ける。素材の取り扱い方法を理解し、商品の説明に取り入れることができる。
授業計画	<p>第1回 ファッションの中での素材の役割</p> <p>第2回 繊維の種類とその特性 1 綿、麻</p> <p>第3回 繊維の種類とその特性 2 絹</p> <p>第4回 繊維の種類とその特性 3 羊毛</p> <p>第5回 天然繊維の特性と各繊維の比較</p> <p>第6回 繊維の種類とその特性 4 再生繊維</p> <p>第7回 繊維の種類とその特性 5 半合成繊維</p> <p>第8～9回 繊維の種類とその特性 6 合成繊維</p> <p>第10回 繊維の種類とその特性 7 その他の繊維</p> <p>第11回 糸の種類と特性</p> <p>第12回 織りの種類と特性</p> <p>第13回 編みの種類と特性</p> <p>第14～16回 代表的な生地の種類と特性</p> <p>第17回 レースの種類と特性</p> <p>第18回 染色の種類と特性</p> <p>第19～20回 加工の種類と特性</p> <p>第21～22回 取扱い絵表示</p> <p>第23～24回 柄の種類</p> <p>第25～26回 皮革・毛皮の種類と特性</p> <p>第27～28回 獣毛の種類と特性</p> <p>第29～30回 デザインと素材の関係（知識）</p> <p>第31～32回 デザインと素材の関係（応用）</p>
教科書	テキスタイルハンドブック
成績評価方法	定期試験の成績(80%)及び授業参加への積極性を重視する平常点(20%)により評価する
備考	

科目概要

学科名	ファッションデザイン科		
科目コード	2020FD14		
授業科目名	服飾史		
授業時間数	32		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	1年次	開講時期	通年
授業方法	講義		
実務経験のある教員による授業科目	該当しない		

シラバス

授業内容	西洋服飾の歴史を学ぶ。歴史上でどのような文化のもと、どのように美意識が変化していくのか、またそれにより人々のファッションに対する考えやそのデザインがどのように影響を受けていくのかを学修する。過去の時代背景とファッションの関連を学ぶことにより、今後の流行を予測する力を身につける。
到達目標	西洋服飾の歴史を学び、その時代背景とファッションの関わりを理解する。過去のファッションの移り変わり、時代との関わりを学ぶことで、今後のファッション予測の考え方を身に付ける。
授業計画	<p>第1回 服飾史とは</p> <p>第2回 衣服の基本形について</p> <p>第3回 古代メソポタミア・エジプトの時代背景と服飾について</p> <p>第4回 古代ギリシャの時代背景と服飾について</p> <p>第5回 古代ローマの時代背景と服飾について</p> <p>第6回 中世ロマネスクスタイルの時代背景と服飾について</p> <p>第7回 中世ゴシックスタイルの時代背景と服飾について</p> <p>第8～9回 近世ルネサンススタイルの時代背景と服飾について</p> <p>第10～11回 近世バロックスタイルの時代背景と服飾について</p> <p>第12回 中世から近世への移り変わりとその特性</p> <p>第13～15回 近世ロココスタイルの時代背景と服飾について</p> <p>第16～17回 近代の服飾1 フランス革命からロマン主義の時代背景と服飾について</p> <p>第18～19回 近代の服飾2 クリノリンスタイルの時代背景と服飾について</p> <p>第20回 近代の服飾3 パスルススタイルの時代背景と服飾について</p> <p>第21～22回 アールヌーボーとアールデコについて</p> <p>第23回 現代 1920年代ファッションの時代背景と服飾について</p> <p>第24～25回 現代 1930～40年代ファッションの時代背景と服飾について</p> <p>第26～27回 現代 1950～70年代ファッションの時代背景と服飾について</p> <p>第28～30回 現代 1980年代以降 20世紀の時代背景と服飾について</p> <p>第31～32回 現代ファッションとこれからの予測</p>
教科書	西洋服装史
成績評価方法	定期試験の成績(80%)及び授業参加への積極性を重視する平常点(20%)により評価する
備考	

科目概要

学科名	ファッションデザイン科		
科目コード	2020FD17		
授業科目名	ベーシックデザイン		
授業時間数	72		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	1年次	開講時期	前期・中期
授業方法	演習		
<small>実務経験のある教員による授業科目</small>	該当しない		

シラバス

授業内容	色彩検定に向けての学習と共に、色彩の基礎的な知識をアクリル絵の具による実技課題を通して、修得していく。色彩検定の基礎的な知識と職能的な知識を生かして、平面構成の図案の構成力、配色計画、アナログ技法の技術表現力を修得する。
到達目標	色の基礎知識を習得するための色彩検定取得と、その知識を生かしテーマに沿った色彩計画、平面構成力、画材による表現技法を修得する。
授業計画	第1回 色の分類と三属性
	第2回 混色
	第3回 光と色
	第4回 視覚構造
	第5回 照明・混色
	第6回 PCCS
	第7-8回 心理効果・視覚効果・知覚効果
	第9-10回 色彩調和
	第11回 地と図
	第12-13回 色彩効果
	第14回 色名
	第15-19回 色彩検定対策
	第20-24回 平面構成
教科書	文部科学省後援 ひとりで学べる色彩検定2・3級試験テキスト&問題集 第2版 (ナツメ社)
成績評価方法	各課題における作品評価点 (50%)、色彩検定合否 (10%)、及び授業参加への積極性を重視する平常点 (40%) により評価する。
備考	

科目概要

学科名	ファッションデザイン科		
科目コード	2020FD18		
授業科目名	ファッションマーケティング		
授業時間数	60		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	1年次	開講時期	前期・中期
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	百貨店において、接客販売、バイヤー、セールスマネージャーの実務経験を持つ教員が、プランニングの基礎となるターゲット企画や情報分析等を指導する。クラスター分析を行いイメージマップの作成とライフスタイルをはじめとする周辺情報を収集・分析する力を身につける。市場調査の方法を身に付け、トレンド情報やブランド情報を収集・分析する能力を身に付ける。
到達目標	クラスター分析を行いターゲットとそのライフスタイル分析ができる力を身につける。市場調査を行いマーケットリサーチと情報収集分析能力を身に付ける。トレンド情報やブランド情報を収集分析する能力を身に付ける。
授業計画	<p>第1回 マーケティングとは マーケティングを構成する要素／戦略</p> <p>第2回 ファッション企業のマーケティング特性</p> <p>第3回 市場調査の基礎知識／ファッション企業の市場調査について</p> <p>第4回 ブランドとは／コンセプトとターゲット（クラスター）</p> <p>第5回 自己ファッション分析①</p> <p>第6回 自己ファッション分析②</p> <p>第7回 マーケティング上の分類について</p> <p>第8～12回 ファッションイメージ／クラスター分析 演習</p> <p>第13回 マーケティングリサーチとトレンド情報について</p> <p>第14回 トレンド分析1（社会背景とトレンドの仕組み）</p> <p>第15～17回 トレンド分析2（2021 S/S プレタポルテコレクション分析・ブランド分析）</p> <p>第18回 マーケットリサーチ①（百貨店）</p> <p>第19回 マーケットリサーチ②（サクラマチクマモト）</p> <p>第20～23回 ブランド／ショップ 分析（コンセプト、ターゲット、商品グレード、店舗空間）</p> <p>第24回 マーケットリサーチプレゼンテーション</p>
教科書	担当教員において配布資料作成 ファッションビジネス I / ファッションビジネス用語辞典（日本ファッション教育振興協会）
成績評価方法	各制作課題における作品評価点（80%）及び授業参加への積極性を重視する平常点（20%）により評価する
備考	

科目概要

学科名	ファッションデザイン科		
科目コード	2020FD19		
授業科目名	スタイリングコーディネート		
授業時間数	60		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	1年次	開講時期	前期・中期
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	<p>スタイリストの実務経験を持つ教員が、ファッションアイテムに関する基礎知識とスタイリングコーディネートの方法を指導する。</p> <p>美容師、メイクアップアーティスト、ウォーキング指導のそれぞれの実務経験を持つ教員がスタイリングコーディネートに必要なヘアアレンジ、メイク方法、ポージングやウォーキングの指導をする。</p> <p>アイテム名、ディテール、シルエット、ラインなど、商品に関する基礎知識を身につけ、スタイリングコーディネートでの応用力を身につける。</p>
到達目標	<p>アパレル商品の基礎知識(アイテム名、シルエット、ライン、ディテール等)を身につける。</p> <p>目的に合わせたスタイリングコーディネート提案ができる能力を身につける。</p>
授業計画	<p>第1回 アパレル商品について(服種・アイテム、分類)</p> <p>第2回 アイテム知識①(スカートの種類、特徴)</p> <p>第3回 アイテム知識②(パンツの種類、特徴)</p> <p>第4回 アイテム知識③(ワンピースの種類、特徴)</p> <p>第5回 アイテム知識④(シャツ・ブラウスの種類、特徴)</p> <p>第6回 アイテム知識⑤(ジャケット・スーツ/コートの種類、特徴)</p> <p>第7回 アイテム知識⑥(ニットの種類と特徴)</p> <p>第8回 アイテム知識⑦(シルエット、ディテール)</p> <p>第9～10回 ヘアアレンジ演習</p> <p>第11回 メイク演習</p> <p>第12回 ウォーキング、ポージング演習</p> <p>第13回 テーマ別スタイリング提案①(シーズン)</p> <p>第14回 テーマ別スタイリング提案②(カラー)</p> <p>第15回 テーマ別スタイリング提案③(素材)</p> <p>第16回 テーマ別スタイリング提案④(イメージ)</p> <p>第17回 テーマ別スタイリング提案⑤(コンプレックスカバー)</p> <p>第18回 テーマ別スタイリング提案⑥(フリー)</p> <p>第19回 サイズ知識(メンズ、レディース)</p> <p>第20回 効果的なワードローブ計画について</p>
教科書	担当教員において配布資料作成 / ファッション辞典(文化出版局)
成績評価方法	各課題における作品評価点(80%)及び授業参加への積極性を重視する平常点(20%)により評価する
備考	

科目概要

学科名	ファッションデザイン科		
科目コード	2020FD20		
授業科目名	デザイン画 I		
授業時間数	72		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	1年次	開講時期	前期・中期
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	フランスのアパレル企業のデザイナーアシスタントとしての実務経験があり 自ブランドの企画、服飾デザイン、テキスタイルデザインを行う教員が 人体のバランスの取り方から、イメージしたデザインを表現するための技術までを基礎から指導する。
到達目標	人体のバランスの取り方を理解し、着装、シルエットの表現、着彩方法を身に付ける。雰囲気や素材感を表現する技術を身に付ける。
授業計画	第1～2回 人体の描き方 (課題名 クロッキー) 第3回 人体バランスの描き方1 (課題名 ドローイング) 第4回 人体バランスの描き方2 (課題名 写真からのドローイング) 第5回 衣服の描き方1 (課題名 着装画) 第6～7回 衣服の描き方2 (課題名 平面図) 第8～9回 コピックの使い方 (課題名 デザイン画) 第10～12回 オリジナルデザイン表現1 (課題名 オリジナルデザイン画) 第13回 人体の描き方応用 (課題名 クロッキー) 第14～15回 素材表現 (課題名 素材表現画) 第16～17回 アクリル絵の具の使い方 (課題名 デザイン画) 第18回 模写1 (課題名 ファッション画からの模写) 第19～20回 模写2 (課題名 写真からの模写) 第21～22回 ドローイングと平面図 (課題名 ドローイングと平面図) 第23～24回 オリジナルデザイン表現2 (課題名 オリジナルデザイン画)
教科書	ファッションデザインテクニック デザイン画の描き方
成績評価方法	各制作課題における作品評価点(80%)及び授業参加への積極性を重視する平常点(20%)により評価する
備考	

科目概要

学科名	ファッションデザイン科		
科目コード	2020FD21		
授業科目名	パターンメイキング		
授業時間数	120		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	1年次	開講時期	前期・中期
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	<p>アパレルメーカーでパタンナーとして勤務実績のある教員が、採寸から基本アイテムの製図まで、パターンメイキングの基礎を指導する。体と服とゆとりの関係を理解し、演習を通して平面から立体を作り出す構成感覚を身につけ、工業用パターンの作成までを行う。</p>
到達目標	<p>体と服のゆとりの関係を理解し、平面から立体を作り出す構成能力を身に付ける。デザインに合わせた作図の応用技術を身に付ける。被服構成の理解を深めそれに合わせた縫製仕様書や工業用パターンを制作する技術を身に付ける。</p>
授業計画	<p>第1回 服飾造形の基礎・採寸 第2回 タイトスカート作図(課題名 タイトスカートパターン) 第3回 応用スカート作図(課題名 応用スカートパターン) 第4～6回 パンツ作図、トワルチェック、工業用パターン(課題名 パンツパターン) 第7～8回 身頃原型トワル組み・修正(課題名 身頃原型) 第9回 ダーツ展開、応用 第10～12回 台衿付シャツカラーシャツ作図、トワルチェック、工業用パターン(課題名 シャツパターン) 第13～14回 テーラードカラージャケット身頃作図・トワル組み(課題名 ジャケット身頃パターン) 第15回 ジャケット2枚袖作図・トワル組み(課題名 ジャケット二枚袖パターン) 第16回 ジャケットトワルチェック 第17回 ジャケットトレース・工業用パターン(課題名 ジャケット工業用パターン) 第18回 ジャケットの衿・見返し等の展開(課題名 衿見返しの展開パターン) 第19回 衿の応用作図(課題名 衿パターン) 第20回 袖の応用作図(課題名 袖パターン) 第21回 ジャケット作図と確認テスト(課題名 ジャケットパターン) 第22回 ワンピース作図(課題名 ウエスト切り替え・プリンセスライン) 第23回 その他応用作図(課題名 ラグランスリーブ・フレアーコート) 第24回 ディテール作図・確認テスト(課題名 ディテール作図)</p>
教科書	<p>担当教員において配布資料作成</p>
成績評価方法	<p>各制作課題における作品評価点(80%)及び授業参加への積極性を重視する平常点(20%)により評価する</p>
備考	

科目概要

学科名	ファッションデザイン科		
科目コード	2020FD23		
授業科目名	ファッションデザイン論		
授業時間数	12		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	1年次	開講時期	前期
授業方法	講義		
実務経験のある教員による授業科目	該当しない		

シラバス

授業内容	ファッションデザインを学ぶうえで必要となる基本的な知識を学修する。ファッションデザインとは何か、また、その考えをどのように表現していくのか、そこに必要な知識・技術を身につける。デザインプロセスや造形の基本テクニック、などを学び、他の科目で実践的に身につけられる入口になるよう連携を図る。
到達目標	デザインの歩みと過去のデザイナーの思想や作品を理解する。 デザインの観察ポイントを理解し、作品を分析する力を養い、自らの造形力に応用する。
授業計画	第1回 近代デザインの歩み 第2回 服飾デザインの歩み 第3回 デザインの定義、分野 第4回 服飾デザインの基礎・形態（点・線・シルエット） 第5回 形の見え方 第6回 コンポジション1 第7回 コンポジション2 第8回 服飾デザインへの展開 第9回 デザインとイメージ 第10回 デザインソースからの発想（建築・時代・美術・民族服） 第11回 デザインソースからの発想（日本の美・服飾史・生物・色・素材） 第12回 ファッション産業におけるデザインの役割
教科書	担当教員において配布資料作成
成績評価方法	定期試験の成績(80%)及び授業参加への積極性を重視する平常点(20%)により評価する
備考	

科目概要

学科名	ファッションデザイン科		
科目コード	2020FD24		
授業科目名	販売概論		
授業時間数	48		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	1年次	開講時期	前期・中期
授業方法	講義・演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	百貨店において、接客販売、セールスマネージャーの実務経験を持つ教員が、ファッション販売の概要とショップスタッフの対応力、快適な売場運営について指導する。 今、実店舗に求められるショップスタッフの役割を理解し、お客様の購買行動と心理プロセスに沿った対応力を修得する。
到達目標	ファッション店舗における一連の業務の流れを学び、販売員としての基礎知識、実務を修得する。消費者の購買心理を理解し、状況に応じた適切な対応力を修得する。 消費者の価値観、購買動向の現状を知り、商品のライフサイクルに合わせた適切な売場運営を考えられる力を身に付ける。
授業計画	第1回 ファッション販売とは 第2回 販売員として求められる要素 第3回 マナーと第一印象 敬語（誤った敬語） 第4回 お客様とは 求める満足価値 第5回 消費者行動とファッション表現 第6回 ファッションにおけるマズロー欲求5段階説の理解 第7回 ライフスタイルとファッション 第8～9回 シーズンサイクルについて（シーズンカレンダー作成） 第10～11回 販売とコミュニケーション（傾聴力・表現力向上） 第12回 接客の流れ（アプローチ～クロージング） 第13回 お客様の購買行動 第14～15回 購買心理のプロセスについて 第16～17回 売場商品構成について（売場と商品分類、演出と陳列） 第18～21回 ショップにおける計数管理について 第22回 フォーマル知識 第23～24回 ロールプレイング（商品提示・セールストーク）
教科書	担当教員による配布資料作成 ファッションビジネスⅠ（日本ファッション教育振興協会） ファッション辞典（文化出版局）
成績評価方法	定期試験（80%）及び授業参加への積極性を重視する平常点（20%）により評価する。
備考	

科目概要

学科名	ファッションデザイン科		
科目コード	2020FD25		
授業科目名	修了制作		
授業時間数	212		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	1年次	開講時期	中期・後期
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	アパレル業界において、接客販売、バイヤー、セールスマネージャー、パタンナー、既製服縫製の実務経験を持つ教員が、オリジナルデザインの提案を指導する。1年間の集大成としてマーケティングリサーチからコンセプトワーク、デザイン、パターン、ソーイング、企画書作成、プレゼンテーションまでを一貫して行う。
到達目標	時代を読み取りコンセプトに反映させる力を身に付ける。コンセプトに沿ったデザインの提案力を身に付ける。デザイン画を表現できるパターンとソーイングの技術を身に付ける。企画の意図を伝える企画書作成の力とプレゼンテーション能力を身に付ける。
授業計画	第1～2回 マーケティングリサーチ 第3～4回 コンセプトワーク 第5～7回 オリジナルデザイン 第8～12回 パターンメイキング 第13～15回 ファブリケーション 第16～32回 ソーイング 第33～34回 コーディネート 第35～36回 プレゼンテーション準備 第37回 プレゼンテーション
教科書	担当教員において配布資料作成
成績評価方法	各制作課題における作品評価点(60%)及びプレゼンテーションの内容評価(20%)、授業参加への積極性を重視する平常点(20%)により評価する
備考	

科目概要

学科名	ファッションデザイン科		
科目コード	2020FD26		
授業科目名	アパレルパターンメイキング I		
授業時間数	24		
必修・選択の別	選択		
対象コース	アパレルデザイン		
開講年次	1年次	開講時期	後期
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	アパレルメーカーでパタンナーとして勤務実績のある教員が、パターンメイキング技術の応用として、2年次で制作する総裏仕立てのジャケット又はコートの作図を指導する。演習を通して素材やデザインに合わせた作図の応用技術を身に付ける		
到達目標	テーラードカラーの構成をより深く理解する。デザインや素材に合わせたパターン展開技術を身に付ける。総裏仕立ての構成を理解し仕立てに合わせた工業用パターンの制作技術を身に付ける。		
授業計画	第1回	総裏テーラードカラージャケット作図(課題名 ジャケット身頃パターン)	
	第2回	総裏テーラードカラージャケットトワル組み(課題名 ジャケット身頃トワル)	
	第3回	2枚袖作図とトワル組み(課題名 2枚袖、ジャケットトワル)	
	第4回	衿、見返し展開とトレース	
	第5～6回	裏地パターン(課題名 ジャケット裏地パターン)	
	第7～8回	ジャケット工業用パターン(課題名 ジャケット工業用パターン)	
	教科書	担当教員において配布資料作成	
成績評価方法	各制作課題における作品評価点(80%)及び授業参加への積極性を重視する平常点(20%)により評価する		
備考			

科目概要

学科名	ファッションデザイン科		
科目コード	2020FD27		
授業科目名	コスチュームパターンメイキング I		
授業時間数	24		
必修・選択の別	選択		
対象コース	コスチュームデザイン		
開講年次	1年次	開講時期	後期
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	<p>アパレルメーカーでパタンナーとして勤務実績のある教員が、パターンメイキング技術の応用として、2年次で制作するワンピースドレスの作図を指導する。演習を通して素材やデザインに合わせた作図の応用技術を身に付ける</p>
到達目標	<p>ワンピースドレスの構成をより深く理解する。デザインや素材に合わせたパターン展開技術を身に付ける。総裏仕立ての構成を理解し仕立てに合わせた工業用パターンの制作技術を身に付ける。</p>
授業計画	<p>第1～2回 ワンピースドレス作図(課題名 ワンピースドレスパターン)</p> <p>第3回 ワンピースドレストワル組み(課題名 ワンピースドレス身頃トワル)</p> <p>第4回 袖作図とトワル組み(課題名 袖作図、ワンピーストワル)</p> <p>第5～6回 裏地パターン(課題名 ワンピースドレス裏地パターン)</p> <p>第7～8回 ワンピースドレス工業用パターン(課題名 ワンピースドレス工業用パターン)</p>
教科書	<p>担当教員において配布資料作成</p>
成績評価方法	<p>各制作課題における作品評価点(80%)及び授業参加への積極性を重視する平常点(20%)により評価する</p>
備考	

科目概要

学科名	ファッションデザイン科		
科目コード	2020FD28		
授業科目名	セールステクニック I		
授業時間数	24		
必修・選択の別	選択		
対象コース	ファッションスタイリスト		
開講年次	1年次	開講時期	後期
授業方法	講義・演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	百貨店において、接客販売、セールスマネージャーの実務経験を持つ教員が、ファッション販売における一連の流れに沿って、セールスポイントを指導する。多様化するマーケットや購買チャネルの中で、実店舗ならではの強みを明確にし、ECでは味わえない感動をお客様に提供する為に必要とされる、コンサルティングセールスのベースを学修する。
到達目標	商品の見せ方から取り扱い、販売員の基本動作、お客様との会話の中でニーズの深掘りが出来るテクニックを、ロールプレイングを通し修得する。
授業計画	<p>第1回 多様化する購買チャネルの現状 実店舗に顧客を動員するために</p> <p>第2回 商品知識とセールストーク</p> <p>第3回 ロールプレイング①（ファーストアプローチとセカンドアプローチ）</p> <p>第4～5回 ロールプレイング②（お客様情報と観察力、発信キーワードとキャッチ力）</p> <p>第6～7回 ロールプレイング③（お客様ニーズの把握、商品提示と効果的な説明）</p> <p>第8回 ロールプレイング④（クロージング）</p>
教科書	担当教員において配布資料作成
成績評価方法	テーマに沿った演習評価（70%）及び授業参加への積極性を重視する平常点（30%）により評価する。
備考	

科目概要

学科名	ファッションデザイン科		
科目コード	2020FD31		
授業科目名	社会研究Ⅱ		
授業時間数	12		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	2年次	開講時期	前期
授業方法	講義		
実務経験のある教員による授業科目	該当しない		

シラバス

授業内容	将来の職業への関心を更に深め、働く事の意義や構造について学ぶと同時に、社会におけるコミュニケーションのあり方を修得し、意欲的な人生設計への実現に向けた選択行動が取れるようになる事を目的とする。
到達目標	自分の将来像を具体的にイメージできるようになる為に、職業観、将来設計能力を養い、人間力、社会人基礎力を身に付ける。
授業計画	第1回 働く意味について考える 第2回 筆記試験対策 第3回 面接対策 第4回 グループディスカッション対策（概要と選考方法） 第5回 グループディスカッション対策（実践と評価） 第6回 キャリアデザイン 第7回 ライフプランの作成 第8回 社会人に必要な基礎知識①（労働・賃金） 第9回 社会人に必要な基礎知識②（社会保険制度） 第10回 社会人に必要な基礎知識③（関係法令） 第11回 人間関係とコミュニケーション 第12回 キャリアデザインの評価
教科書	担当教員において配布資料作成 働く若者のハンドブック（熊本県雇用環境整備協会）
成績評価方法	定期試験（80%）及び授業参加への積極性を重視する平常点（20%）により評価する。
備考	

科目概要

学科名	ファッションデザイン科		
科目コード	2020FD33		
授業科目名	F B 概論Ⅱ		
授業時間数	72		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	2年次	開講時期	前期・中期
授業方法	講義		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	百貨店において、接客販売、バイヤー、セールスマネージャーの実務経験を持つ教員が、ファッションビジネスの総合的、かつ高度な理解を目的とた、実務的な応用理論を解説する。国内のみならず、世界のファッションビジネスの変遷と現状、産業構造やビジネスシステムについて理解を深める。
到達目標	ファッションビジネスにおける実務的な専門知識を修得し、組織の一員として機能できる人材となる為のビジネススキルを身に付ける。
授業計画	<p>第1回 ファッションビジネスの特性と役割</p> <p>第2回 繊維産業の歴史</p> <p>第3回 日本のファッションビジネスの変遷 F Bをめぐる環境変化</p> <p>第4回 近年のファッションビジネス動向 グローバル化の態様</p> <p>第5回 ファッション消費行動を形成する要素 ファッション消費の変遷</p> <p>第6回 グローバルな視点で捉えた世界のアパレル産業</p> <p>第7回 グローバルな視点で捉えた小売業とS C 服飾雑貨、関連産業</p> <p>第8回 服飾雑貨産業／ファッション関連産業と機関</p> <p>第9回 価格と原価</p> <p>第10回 アパレル生産管理・品質管理</p> <p>第11回 アパレル物流</p> <p>第12回 S C M／情報システム</p> <p>第13回 アパレル流通戦略と商取引</p> <p>第14回 アパレル営業とチャネル管理</p> <p>第15回 店舗運営管理（単独店/多店舗/ネットショップ運営）</p> <p>第16回 職種、自己啓発、管理</p> <p>第17回 マネジメント基礎知識／I T知識</p> <p>第18～22回 計数管理</p> <p>第23回 ファッションビジネスに関する法務知識／貿易、関税 について</p> <p>第24回 注目される業界キーワード</p>
教科書	ファッションビジネスⅡ／ファッションビジネス用語辞典（日本ファッション教育振興協会）
成績評価方法	定期試験（80%）及び授業参加への積極性を重視する平常点（20%）により評価する。
備考	

科目概要

学科名	ファッションデザイン科		
科目コード	2020FD34		
授業科目名	ファッションマーケティング		
授業時間数	60		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	2年次	開講時期	前期・中期
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	百貨店において、接客販売、バイヤー、セールスマネージャーの実務経験を持つ教員が、アパレル業界におけるマーケティング、及びプランニングの流れを解説し、実践する。マーケットリサーチ、ロジカルシンキングを通し、市場の流れ、業界動向、流行を読み取る力を修得する。
到達目標	マーケットリサーチ、ロジカルシンキングを通して、情報分析、予測、展開ができる力を身に付ける。又、業界の動向、流行、市場の流れを読み取る力を養い、それを基にした商品企画、プロデュース力を身に付ける。
授業計画	第1回 マーケティング戦略と企業環境の分析方法 第2回 アパレル企業のマーケティング 第3回 小売企業のマーケティング 第4回 インターネットとマーケティング 第5回 市場、ファッション業界の情報収集と分析、考察について 第6～7回 トレンド分析（2020 A/W プレタポルテコレクション分析・ブランド分析） 第8～11回 ファッションマーケット（熊本）の現状リサーチと分析 第12回 ファッションマーケット分析 プレゼンテーション 第13～15回 2020 A/W 店頭リサーチ、トレンド傾向 第16～18回 トレンド分析（2021 S/S プレタポルテコレクション分析・ブランド分析） 第19回 ロジカルシンキング理論 第20回 ロジカルシンキング実践 第21回 ロジカルシンキング実践・検証 第22～23回 他者分析・提案MAP 第24回 スキルアップ（考える・伝える・傾聴）
教科書	担当教員において配布資料作成 ファッションビジネスⅡ／ファッションビジネス用語辞典（日本ファッション教育振興協会）
成績評価方法	各制作課題における作品評価点（80%）及び授業参加への積極性を重視する平常点（20%）により評価する
備考	

科目概要

学科名	ファッションデザイン科		
科目コード	2020FD35		
授業科目名	ブランドプロデュース		
授業時間数	72		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	2年次	開講時期	前期・中期
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当しない		

シラバス

授業内容	商品企画の基本的な流れを学び、既存のブランド研究をもとに、市場やターゲットにマッチした商品提案力を身につける。ファッションマーケティングの授業と連動させ、市場調査から導いたコンセプトに合わせた提案ができる力を修得する。			
到達目標	商品企画の感性を養い、デザイン展開の幅を広げ、より実践的なプロデュース力を身につける。リサーチから問題点を見出し、解決に向けたコンセプトをたて、商品を企画する力を身につける。			
授業計画	第1回	商品企画とは・ファッション小物企画 調査		
	第2回	ファッション小物企画 商品コンセプト・デザイン		
	第3回	ファッション小物企画 デザイン展開・企画書まとめ		
	第4回	ブランディングとは・既存ブランド研究		
	第5回	既存ブランド20-21A/W商品企画		
	第6回	シーズンコンセプト・ターゲットイメージ		
	第7回	デザイン案出し、提案		
	第8回	企画書まとめ		
	第9～10回	デザインソースからの商品企画1 時代		
	第11～12回	デザインソースからの商品企画2 美術		
	第13回	デザインソースからの商品企画3 民族服		
	第14回	デザインソースからの商品企画4 生物		
	第15回	デザインソースからの商品企画5 素材		
	第16回	オリジナルブランド企画		
	第17回	コンセプト・ターゲットイメージ		
	第18～20回	デザイン案出し、提案		
	第21回	デザイン展開・シーズン展開		
	第22回	オーダーシート作成		
	第23回	オリジナルブランド最終企画書		
	第24回	オリジナルブランド最終プレゼンテーション		
	教科書	担当教員において配布資料作成		
	成績評価方法	各制作課題における作品評価点(70%)及び授業参加への積極性を重視する平常点(30%)により評価する		
	備考			

科目概要

学科名	ファッションデザイン科		
科目コード	2020FD36		
授業科目名	グラフィックデザインⅡ		
授業時間数	36		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	2年次	開講時期	中期
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	印刷会社の制作部でグラフィックデザインを担当し制作した経験のある教員がその経験を生かして、IllustratorとPhotoshopのアプリケーションソフトを使ってポスター、リーフレット、カタログ制作やWebサイト制作など広報ツール制作について指導する。
到達目標	CGソフトを使ってイメージを表現出来るようにする。ソフトはイラストレーターとフォトショップを使用。写真の取り込みなども取り入れ、オリジナルブランド「GLITTER」の広報物ができるような技術を身につける。
	第1回／PS 画像補正 第2回／デジタルカメラ撮影 第3回／PRチラシの制作 第4回／ショップDM制作 第5回／インターネットツールの活用1 第6回／ブランドロゴの作成 第7回／プレゼンボードの作成演習 第8回／販売促進企画 第9回／DM、ポスター、チラシ制作 第10回／ホームページ制作 第11回／商品撮影 第12回／カタログ作成
教科書	担当教員において配布資料作成
成績評価方法	各制作課題における作品評価点(80%)及び授業参加への積極性を重視する平常点(20%)により評価する
備考	

科目概要

学科名	ファッションデザイン科		
科目コード	2020FD38		
授業科目名	卒業制作		
授業時間数	420		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	2年次	開講時期	通年
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	アパレル業界において、接客販売、バイヤー、セールスマネージャー、パタンナー、既製服縫製の実務経験を持つ教員が、オリジナルブランドのプロデュースを指導する。グループワークにより、マーケティングリサーチからコンセプトワーク、デザイン、パターン、ソーイング、コーディネート、広報、販売展開までを一貫して行う。
到達目標	グループワークにより他者の様々な意見を聞き討論を行うためのコミュニケーション能力を身に付ける。時代を読み取りコンセプトに反映させる力を身に付ける。コンセプトに沿ったブランドのプロデュース方法と、デザインの提案力を身に付ける。デザイン画を表現できるパターンとソーイングの技術を身に付ける。店舗運営の為の計数管理や販売接客技術、ディスプレイや広報活動等の技術を身に付ける。
授業計画	<p>第1回 オリジナルブランドについて</p> <p>第2～5回 マーケティングリサーチ</p> <p>第6～9回 コンセプトワーク</p> <p>第10～14回 シーンコンセプトとデザイン提案</p> <p>第15～16回 デザイン決定とファブリケーション、パターン計画</p> <p>第17～38回 パターンメイキング</p> <p>第39～70回 ソーイング</p> <p>第71～88回 コーディネート、広報展開</p> <p>第89～95回 広報物作成</p> <p>第96～97回 販売展開企画</p> <p>第98～101回 ショップオープン準備</p> <p>第102～106回 ショップ運営</p>
教科書	担当教員において配布資料作成
成績評価方法	各制作課題における作品評価点(50%)及び授業参加への積極性を重視する平常点(50%)により評価する
備考	

科目概要

学科名	ファッションデザイン科		
科目コード	2020FD39		
授業科目名	ドレーピング		
授業時間数	36		
必修・選択の別	選択		
対象コース	アパレルデザイン		
開講年次	2年次	開講時期	前期
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当しない		

シラバス

授業内容	<p>身体の立体的構造を理解し、ドレーピングの基本的な知識と技術を習得することで、よりデザイン画に近い立体を作り出す技術を身につける。パターンメイキングでの平面製図と連動させながら、よりパターンの仕組みと構造を理解するとともに、ドレーピングだからこそできる立体表現力を身につける。</p>		
到達目標	<p>デザイン画から、立体物の構造を想像し、形にする考え方を理解する。 平面製図の知識と組み合わせ、よりデザイン画に近い形を表現する技術を身につける。</p>		
授業計画	第1週	立体の観察、立体裁断の基礎	
	第2週	タイトフィッティング	
	第3週	トルソーシルエット	
	第4週	身頃原型	
	第5週	身頃原型応用、ダーツバリエーション	
	第6週	スカートの構造原理、タイトスカート	
	第7週	フレアスカート	
	第8週	ブラウス	
	第9週	ワンピース	
	第10週	モードコピー	
	第11週	モードコピー	
	第12週	モードコピー	
教科書	担当教員において配布資料作成		
成績評価方法	各制作課題における作品評価点(80%)及び授業参加への積極性を重視する平常点(20%)により評価する		
備考			

科目概要

学科名	ファッションデザイン科		
科目コード	2020FD40		
授業科目名	アパレルパターンメイキングⅡ		
授業時間数	72		
必修・選択の別	選択		
対象コース	アパレルデザイン		
開講年次	2年次	開講時期	前期・中期
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	アパレル生産企業にてアパレルCAD、パターン修正等の実務経験のある教員が、パターンの応用としてアイテム、デザイン、素材に応じたファーストパターンから工業用パターン作成法を指導する。パターンメイキング検定2級の内容を取り入れ理解を深めていくと共に、リアルクローズに必要なパターン技術を修得していく。
到達目標	パターンメイキング検定2級の内容を取り入れ正確かつスピーディーなデザインジャケットの作図技術を身に付ける。リアルクローズで取り入れられているアイテムやシルエット、ディテールに合わせたパターンメイキング技術を身に付ける。
授業計画	<p>第1～2回 ハイウエスト切替えのワンピース作図</p> <p>第3～4回 デザインジャケットの作図1(課題名 ジャケット1/2パターン)</p> <p>第5～6回 デザインジャケットの作図2(課題名 ジャケット実物パターン・トワル)</p> <p>第7～10回 ディテール作図(課題名 ディテールパターン)</p> <p>第11～12回 モードコピー1(課題名 モードコピーパターン又はトワル)</p> <p>第13～15回 モードコピー2(課題名 モードコピーパターン又はトワル)</p> <p>第16～18回 モードコピー3(課題名 モードコピーパターン又はトワル)</p> <p>第19～21回 モードコピー4(課題名 モードコピーパターン又はトワル)</p> <p>第22～24回 モードコピー5(課題名 モードコピーパターン又はトワル)</p>
教科書	担当教員において配布資料作成
成績評価方法	各制作課題における作品評価点(80%)及び授業参加への積極性を重視する平常点(20%)により評価する
備考	

科目概要

学科名	ファッションデザイン科		
科目コード	2020FD41		
授業科目名	アパレルソーイング		
授業時間数	72		
必修・選択の別	選択		
対象コース	アパレルデザイン		
開講年次	2年次	開講時期	前期・中期
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	アパレル生産企業にて既製服の縫製、アパレルCAD、パターン修正等の実務経験のある教員が、業界で即応できる生産技術を指導する。総裏テーラードジャケット又はコートの構成を理解し、演習を通して素材特性を活かした縫製技術を身に付ける
到達目標	総裏テーラードジャケット又はコートの制作演習を通して素材特性を活かした技術を習得し、デザインに応じた縫製技術と表現力を身に付けることで被服制作の習熟度を高める。また、縫製仕様書と工程分析を作成することで、縫製指示や生産管理の能力を高める。
授業計画	<p>第1回 応用部分縫い1(課題名/角縫い、逆カーブ縫い)</p> <p>第2～3回 応用部分縫い2(課題名/ポケット部分縫い)</p> <p>第4回 生地のカット(課題名/ジャケットのカット)</p> <p>第5～6回 総裏ジャケット1(課題名/ジャケットの身頃組立)</p> <p>第7～8回 総裏ジャケット2(課題名/衿作り、衿付け)</p> <p>第9～10回 総裏ジャケット3(課題名/袖作り、袖付け)</p> <p>第11～12回 総裏ジャケット4(課題名/裏作り、裏付け、仕上げ)</p> <p>第13～24回 オリジナルデザイン制作(課題名/卒業制作作品)</p>
教科書	担当教員において配布資料作成
成績評価方法	各制作課題における作品評価点(80%)及び授業参加への積極性を重視する平常点(20%)により評価する
備考	

科目概要

学科名	ファッションデザイン科		
科目コード	2020FD42		
授業科目名	ドレーピング		
授業時間数	36		
必修・選択の別	選択		
対象コース	コスチュームデザイン		
開講年次	2年次	開講時期	前期
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当しない		

シラバス

授業内容	<p>身体の立体的構造を理解し、ドレーピングの基本的な知識と技術を習得することで、よりデザイン画に近い立体を作り出す技術を身につける。パターンメイキングでの平面製図と連動させながら、よりパターンの仕組みと構造を理解するとともに、ドレーピングだからこそできる立体表現力を身につける。</p>		
到達目標	<p>デザイン画から、立体物の構造を想像し、形にする考え方を理解する。 平面製図の知識と組み合わせて、よりデザイン画に近い形を表現する技術を身につける。</p>		
授業計画	第1週	立体の観察、立体裁断の基礎	
	第2週	タイトフィッティング	
	第3週	トルソーシルエット	
	第4週	身頃原型	
	第5週	身頃原型応用、ダーツバリエーション	
	第6週	スカートの構造原理、タイトスカート	
	第7週	フレアースカート	
	第8週	ブラウス	
	第9週	ワンピース	
	第10週	モードコピー	
	第11週	モードコピー	
	第12週	モードコピー	
教科書	ファッションデザインテクニク デザイン画の描き方		
成績評価方法	各制作課題における作品評価点(80%)及び授業参加への積極性を重視する平常点(20%)により評価する		
備考			

科目概要

学科名	ファッションデザイン科		
科目コード	2020FD43		
授業科目名	コスチュームパターンメイキングⅡ		
授業時間数	72		
必修・選択の別	選択		
対象コース	コスチュームデザイン		
開講年次	2年次	開講時期	前期・中期
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	アパレル生産企業にてアパレルCAD、パターン修正等の実務経験のある教員が、パターンの応用としてアイテム、デザイン、素材に応じたファーストパターンから工業用パターン作成法を指導する。パターンメイキング検定2級の内容を取り入れ理解を深めていくと共に、装飾的なディテールを含むパターン技術を修得していく。		
到達目標	パターンメイキング検定2級の内容を取り入れ正確かつスピーディーなデザインジャケットの作図技術を身に付ける。コスチューム等で取り入れられているアイテムやシルエット、ディテールに合わせたパターンメイキング技術を身に付ける。		
授業計画	第1～2回	ハイウエスト切替えのワンピース作図	
	第3～4回	デザインジャケットの作図1(課題名 ジャケット1/2パターン)	
	第5～6回	デザインジャケットの作図2(課題名 ジャケット実物パターン・トワル)	
	第7～10回	ディテール作図(課題名 ディテールパターン)	
	第11～12回	モードコピー1(課題名 モードコピーパターン又はトワル)	
	第13～15回	モードコピー2(課題名 モードコピーパターン又はトワル)	
	第16～18回	モードコピー3(課題名 モードコピーパターン又はトワル)	
	第19～21回	モードコピー4(課題名 モードコピーパターン又はトワル)	
	第22～24回	モードコピー5(課題名 モードコピーパターン又はトワル)	
	教科書	担当教員において配布資料作成	
成績評価方法	各制作課題における作品評価点(80%)及び授業参加への積極性を重視する平常点(20%)により評価する		
備考			

科目概要

学科名	ファッションデザイン科		
科目コード	2020FD44		
授業科目名	コスチュームソーイング		
授業時間数	72		
必修・選択の別	選択		
対象コース	コスチュームデザイン		
開講年次	2年次	開講時期	前期・中期
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	アパレル生産企業にて既製服の縫製、アパレルCAD、パターン修正等の実務経験のある教員が、業界で即応できる生産技術を指導する。ワンピースドレスの構成を理解し、演習を通して素材特性を活かした縫製や難素材縫製の技術を身に付ける
到達目標	ワンピースドレスの制作演習を通して素材特性を活かした技術を習得し、デザインに応じた縫製技術と表現力を身に付けることで被服制作の習熟度を高める。また、縫製仕様書と工程分析を作成することで、縫製指示や生産管理の能力を高める。
授業計画	<p>第1回 応用部分縫い1(課題名/角縫い、逆カーブ縫い)</p> <p>第2～3回 応用部分縫い2(課題名/難素材の縫製)</p> <p>第4回 生地のカット(課題名/ワンピースドレスのカット)</p> <p>第5～10回 ワンピースドレス1(課題名/ワンピースドレスの身頃組立)</p> <p>第11～12回 ワンピースドレス2(課題名/ワンピースドレス仕上げ)</p> <p>第13～24回 オリジナルデザイン制作(課題名/卒業制作作品)</p>
教科書	担当教員において配布資料作成
成績評価方法	各制作課題における作品評価点(80%)及び授業参加への積極性を重視する平常点(20%)により評価する
備考	

科目概要

学科名	ファッションデザイン科		
科目コード	2020FD45		
授業科目名	セールステクニックⅡ		
授業時間数	72		
必修・選択の別	選択		
対象コース	ファッションスタイリスト		
開講年次	2年次	開講時期	前期・中期
授業方法	講義・演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	百貨店において、接客販売、セールスマネージャーの実務経験を持つ教員が、多様化するマーケットや購買チャネルの中で、より高度な専門知識・技術・情報を提供し、商品提案を含め買い手の満足を得られる人材となるべく、実店舗における販売員の役割を解説、実務指導する。ロールプレイングを通し、情報のキャッチ力とコミュニケーションスキルの向上を図る。又、顧客管理の重要性、クレーム対応についての理解を深める。
到達目標	顧客心理に応じた接客方法、アプローチからクロージング迄のプロセスにおいて、状況に応じた接客技法を修得する。 顧客のニーズとビジネスの両面から販売を考えられる力を養う。
授業計画	第1回 役割と責任について考える 第2回 お客様とは お客様にとって店舗とは 第3回 接客のプロセス ～顧客との信頼関係を築く～ 第4回 状況と顧客心理に沿った対応 第5回 売上に繋がる接客技法 第6回 ロールプレイング（セールステクニック① アプローチ） 第7～8回 ロールプレイング（セールステクニック② 商品提示・効果的な説明） 第9～10回 ロールプレイング（セールステクニック③ 迷いの解決） 第11～12回 ロールプレイング（セールステクニック④ セット率アップ） 第13～14回 ロールプレイング（セールステクニック⑤ クロージング、お見送り） 第15～18回 ロールプレイング（アプローチ～クロージング、お見送り迄トータル実践） 第19回 冠婚葬祭知識 第20回 クレーム対応と処理 第21回 顧客作りの重要性と管理術 第22～23回 DMについて（サンキューレター、フェア、新商品案内 等） 第24回 AIと接客／人にしかできないサービスの提供
教科書	担当教員において配布資料作成
成績評価方法	定期試験（70％）、テーマに沿った演習評価（20％）及び授業参加への積極性を重視する平常点（10％）により評価する。
備考	

科目概要

学科名	ファッションデザイン科		
科目コード	2020FD46		
授業科目名	ショップマネジメント		
授業時間数	108		
必修・選択の別	選択		
対象コース	ファッションスタイリスト		
開講年次	2年次	開講時期	前期・中期
授業方法	講義・演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	百貨店において、接客販売、バイヤー、セールスマネージャーの実務経験を持つ教員が、ファッション小売店舗における運営、管理について指導する。 小売形態の特性を理解し、どのような目的で、どのように運営されるのか、又、店舗を効率的に・効果的に運営し、目的を達成する為のマネジメントのトータルの考え方を修得する。		
到達目標	ファッション店舗における一連の管理・運營業務を理解する。 マネジメントサイクルを理解し、店舗を継続的に運営する循環プロセスを修得する。		
授業計画	第1回	ファッションビジネスを取り巻く現状と消費者動向	
	第2回	マネジメントとは	
	第3回	小売店舗の組織、運営特性	
	第4回	マネジメント上の共通点と相違点	
	第5回	リーダーシップ／労務管理	
	第6回	経営、計数管理①（価格設定、価格と消費者心理）	
	第7回	経営、計数管理②（売上）	
	第8回	経営、計数管理③（ショップの経費及び利益計画）	
	第9～10回	品揃え/仕入計画と販売計画	
	第11回	ファッション企業のプロモーション活動とは（分類と特性）	
	第12回	ショッププロモーション（プレストアとインストア）	
	第13回	VMDについて 売場の役割 ゾーニングとレイアウト	
	第14回	売場演出（ディスプレイと陳列技法）	
	第15回	売上とVMDの関係性と要素	
	第16～17回	MDサイクル(理論と演習)	
	第18回	シーズン販売計画とマンスリー販売計画	
	第19回	フェア計画について	
	第20～22回	フェアプランニング演習	
	第23回	EC急成長の中での実店舗のプロモーションの重要性	
	第24回	成果とは	
教科書	担当教員において配布資料作成 ファッションビジネスⅡ／ファッションビジネス用語辞典（日本ファッション教育振興協会） 図解VMDの基本（織研新聞社）		
成績評価方法	定期試験（80%）及び、授業参加への積極性を重視する平常点（20%）により評価する。		
備考			

科目概要

学科名	ファッションデザイン科		
科目コード	2020FD48		
授業科目名	デザイン画Ⅱ		
授業時間数	36		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	2年次	開講時期	前期
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	フランスのアパレル企業のデザイナーアシスタントとしての実務経験があり 自ブランドの服飾デザイン、テキスタイルデザイン、企画を行う教員が 一年次に履修したデザイン画の基礎をもとに素材や質感ディテールなどを表現技法と合った画材の選出を含め 自分のイメージ通りに表現する手法を指導する。
到達目標	水彩を中心に使用し発想したアイデアを正確にファッションデザインに落とし込む技術を身に付ける。コンペへの応募等を通してオリジナリティのあるデザイン表現の方法を身に付ける。
授業計画	第1回 ドローイング（課題名 ドローイング応用） 第2回 コンペ課題に向けたデザイン画1（課題名 コンペ・デザイン案） 第3回 コンペ課題に向けたデザイン画2（課題名 コンペ・デザイン画） 第4～5回 商品企画（課題名 商品企画） 第6回 着彩技法1（課題名 デザイン画） 第7回 着彩技法2（課題名 デザイン画） 第8回 オリジナルデザイン（課題名 デザイン画） 第9～10回 コラージュからの発想（課題名 コラージュデザイン画） 第11～12回 秋冬コレクション企画（課題名 秋冬コレクション企画）
教科書	ファッションデザインテクニック デザイン画の描き方
成績評価方法	各制作課題における作品評価点(80%)及び授業参加への積極性を重視する平常点(20%)により評価する
備考	

科目概要

学科名	ファッションデザイン科		
科目コード	2020FD49		
授業科目名	品質管理		
授業時間数	12		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	2年次	開講時期	前期
授業方法	講義		
実務経験のある教員による授業科目	該当しない		

シラバス

授業内容	<p>アパレルに求められる品質と消費性能について理解し、品質基準、品質管理、品質評価、洗濯などの取り扱い方法や品質表示について学ぶ。実践的なしみ抜きなども取り入れ、現場で役立つ品質にかかわる知識を身につける。また、お客様に伝えるべき品質と取り扱いを理解し、その伝え方やクレーム対策についても学ぶ。</p>
到達目標	<p>アパレル商品の品質や消費性能について理解し、その取扱い方法を身につける。 アパレル商品の品質を見る上でのポイントを理解し、その品質の良し悪しを判断できるようになる。 アパレル商品において品質不良があった場合、問題点が把握でき、クレーム対応などで説明ができるようにする。</p>
授業計画	<p>第1回 品質と消費性能</p> <p>第2回 品質管理</p> <p>第3回 繊維製品の品質評価</p> <p>第4回 製造工程別管理の要点</p> <p>第5回 品質要求度とチェックポイント</p> <p>第6回 繊維製品の品質表示</p> <p>第7回 繊維製品の安全性</p> <p>第8回 繊維製品の取り扱い</p> <p>第9回 しみ抜き</p> <p>第10回 しみ抜き実践</p> <p>第11回 商品の保証とクレーム対策</p> <p>第12回 品質の情報伝達</p>
教科書	担当教員において配布資料作成
成績評価方法	定期試験の成績(80%)及び授業参加への積極性を重視する平常点(20%)により評価する
備考	